

# 祈りの絆

連盟の被災地支援に関する情報は、連盟ホームページをご覧ください。http://www.bapren.jp/

お祈りください

- ①被災された方々の中で自死、孤独死、DV、離婚、が増えてい  
ます。生きる希望が与えられますように。
- ②原発事故の収束。汚染水の処理問題が速やかに解決されるように。
- ③支援活動に必要な募金と与えられるように。
- ④新体制の東日本大震災被災地支援委員会、現地支援委員会の活動  
を覚えて。



## 福島の子どもたち「避難保養プロジェクト」

3月26日～28日天城山荘でおこなわれた全  
国小羊会キャンプに福島旭町キリスト教会と郡  
山コスモス通りキリスト教会の子どもたち10  
名が、「避難保養プロジェクト」の一環として参  
加しました。今回は、3、4年生も別プログラ  
ムでの参加が許され、大変楽しいひと時を過  
しました。郡山コスモス通りキリスト教会の子  
どもたちは、キャンプ前日から参加させていた  
だきました。日頃、放射能の影響で、なか  
か外で遊ぶことができないからか、天城山荘の  
庭で思いっきり鬼ご  
っこをしたり、バト  
ミントンをして遊ぶ  
ことができました。  
「先生、こんなのク  
しぶり〜」たのしい  
ねっ〜！薄暗くな  
った庭で息を切らし  
ながら、声を弾ませ  
る子どもたち。満面  
の笑顔で鬼ごっこをしているその姿を見ながら、  
こんな当たり前のことができない福島の子の2  
年、そして、たくさん不自由と犠牲を強いら  
れている子どもたちの今を改めて目の当たりに  
して、思わず涙がこぼれた初日でした。時間を  
惜しみ、プログラムの隙  
間を縫うようにして外  
に飛び出していく福島  
の子どもたちなので  
す。確実に体力が低下し  
ていることを実感しま  
した。この新たな課題を  
しっかりと受け止め、今  
後の福島の子どもたち  
の体力増加につながる  
プログラムを組み直し  
ていこうと思えます。全  
国小羊会キャンプのス  
タッフの皆様、大変お世  
話になりました。

## テーブル&ベンチプロジェクト開始！

昨年の11月、談話室の設置がなされていない  
大槌町第14仮設にテーブル&ベンチセットを寄  
贈させていただきました。これをきっかけに談  
話室のない仮設団地内でも、「お茶っこ」を開催  
したり、手芸等を楽しみながらお交わりをする場所  
をなんとか提供できないだろうか、一人じゃな  
いことを実感できるような場所作りのお手伝い  
をさせていただきたい、そのような思いでこの  
プロジェクトを立ち上げました。被災地では50  
世帯以下の仮設団地は、談話室の設置ができな  
いのが現実です。そのような仮設に住んでおら  
れる方々は家に引きこもるしかありません。で  
すから町役場の方々と相談をして、テーブル&  
ベンチを希望する仮設団地がないかどうか、ア  
ンケートを取っていただいたところ、私たちの  
予想を超えた14箇所から要望があり、川崎教会  
の伊藤光雄先生がきめ細かい打ち合わせと段取  
りをしてくださって、この計画が実現いたしま  
した。4月9～13日、遠野ボランティアセンタ  
ーに神奈川連合や、東京北教会、仙台北キリス  
ト教会、盛岡教会等から10名のボランティアの  
方々が集合。大槌町役場の体育館ロビーなどを  
作業場としてお借りして、テーブル8個、ベン  
チ16脚が出来上がりました。早速8箇所の仮設  
団地に配達したところ、どこの仮設の方々も目  
をまん丸にして、とっても喜んでくださいまし  
た。このテーブルとベンチを通してきくと、  
「お茶っこ」が始まるはず、きくと、そこは笑顔  
と涙で心埋められる場所となるはず。5月  
に残り6箇所のテーブル&ベンチ製作が行われ  
る予定です。覚えてお祈りください。大工集団  
がベンチとテーブルを製作してくださっている  
間、小銃第7と第4仮設団地では  
いつものように「お茶っこ」  
を開催。今回は連鶴作成をい  
たしました。お一人お一人の  
心に平安がおとすれることを  
祈りつつ。

## 備えておられますか？

日本列島、各地で地震がおきています。地震



保険の加入、教会内、連合内の緊急連絡網整備、  
避難道具、避難経路の確認、帰宅困難者の受け入  
れ態勢等の確認。何事もない時だからこそ、考え  
られていると余裕ができ、判断ミスが軽減されま  
す。地震、水害、原発事故。予測不能です。  
(現地支援担当・金子千嘉世)



## 今後の予定

- 4月22日～24日 小銃第4、第7仮設支援(遠野 VC)
  - 4月22日 宮前仮設団地支援(仙台北教会)
  - 4月25日 東日本大震災被災地支援委員会
  - 4月27日 緑が丘仮設団地支援(郡山教会)
  - 4月29日 現地支援委員会
  - 5月15日～18日 大槌町ベンチ&テーブル制作(担当神奈川連合)
  - 5月21日～22日 小銃第4、第7仮設支援(遠野 VC)
- 各委員会は新しいメンバーでの活動が展開されます。お祈りください。

## 東日本大震災被災地支援委員会原発課題班コラム 原子力発電所と放射能について知っておきたいこと⑦ 『いのちの主』

天地創造の神さまはご自分のお創りになったものを「極めて良  
い」と認め、被造物すべてに温かいまなざしを注いでおられます。  
すべてのいのちの創り主は、すべてのいのちを丸ごと肯定し祝福  
しておられることを、わたしたちは創世記から教えられます。同  
じような眼差しで、イエスさまは「空の鳥」「野の花」をご覧にな  
っています。

核分裂反応を利用する技術は、創造の神・いのちの主への信仰  
とどのように関わり合うのでしょうか。

イラク戦争の際に用いられた劣化ウラン弾という核兵器の後遺  
症に、いまだにイラクの子どもたちは悩まされています。南太平  
洋で何百回と繰り返された核実験の影響も同じです。チェルノブ  
イリ事故の影響は、いまだにベラルーシ、ウクライナなどの人々  
の健康を脅かし続けています。

そして人間だけではなく、原発事故によって被ばくしたすべて  
のいのちが脅かされているのです。水俣の際も、猫がまずけいれ  
ん発作を起こしました。同じことが被ばく動物たちに起こるで  
しょう。これらの事例が教えることは核分裂反応が人為的に大規模  
に引き起こされるときに神さまが良しとされたいのちが取り返し  
のつかないほどに損なわれるということです。

ドイツには原子力行政を倫理的に審査するシステムがあると聞  
きます。わたしたちも経済的な理由づけばかりではなく、倫理の  
課題として立ち止まって考えることが必要です。キリスト者にと  
ってそれは天地創造の神さまに対する責任の問題です。

原発課題班 担当 城倉 啓

東日本大震災被災地支援募金にご協力ください  
すべての支援活動は、募金によって支えられています。

2013年度募金目標額(一般募金)：2,000万円

お祈りとご協力に心から感謝申し上げます。

送金先：郵便振替00140-9-180881 宗教法人日本バプテスト連盟総務部

※「大震災被災地支援募金」と明記してください。※募金は極力、教会単位でご送金ください。

海外からの募金は別口座になります。総務部までお問い合わせください。